

グーズ岩

若杉山の金剛頂院と太祖宮上宮の間にグーズ岩という亀の形をした大きな岩があります。この岩

には次のような話が伝えられています。

聖武天皇（724～749）のころ、天竺密



教6世の祖である善無為三蔵ぜんむゐさんざうと言われる高僧が、大和の国（日本）に密教を伝え広めるために、はるばるインドから中国を経て渡航することになりました。

折よく船に

乗ることができ、遠く異国のことを思いながら時を過していました。

ところが途中、大暴風雨に遭遇し、船は木の葉のようにもてあそばれてしまいました。

今にも沈没するかと思われたとき、善無為三蔵は、若杉山の方に手を合わせ山頂に祭られている八大龍王に「この船が無事に筑紫の港に着きますようお守りください。無事に着きましたら必ずお礼のお祭りをします」と懇願されました。すると船は数日後には無事に博多の港に到着することができました。

疲れ果てていた善無為

三蔵は、立つこともできないほどに弱りきっていましたが、八大龍王のお祭りを行わなくてはならないと気を引き立てながら、若杉山頂に向かって歩いていました。

すると一匹の大きなグーズがどこからともなく現れて、善無為三蔵に向かつて首を長く伸ばし自分の甲羅に乗りなさいという仕草をするので、その上に乗るとグーズはゆつくりと山頂に向かって歩き出しました。

やがて山頂付近になると、グーズは突然止まり動かなくなりました。善無為三蔵はグーズに厚く礼を言つて、無事山頂の八大龍王が奉られているところに着くことができました。そして、八大龍王のお祭りをねんごろに行うと、グーズはそのままの格好で岩になつてしまいました。

町歴史民俗資料室